平成 23 年度第 1 回放送番組審議会

■平成 23 年度放送番組審議会委員

会　長　：　金子　　春生　　様
副会長　：　峯岸　　忠雄　　様
委　員　：　増田　　福夫　　様
委　員　：　吾孫子　輝一郎　様
委　員　：　米山　　隆恭　　様
委　員　：　城所　　健司　　様
委　員　：　澤　　千登士　様
委　員　：　源田　　佐知子　様
委　員　：　齊藤　　仁志　　様
委　員　：　関戸　　達哉　　様

■審議会の開催状況

●平成 23 年度第 1 回放送番組審議会

日　時：平成 23 年 7 月 29 日(金)　午後 2 時～4 時
会　場：パルテノン多摩　第 2・第 3 会議室
出席委員（敬称略）
金子春生、峯岸忠雄、増田福夫、吾孫子輝一郎、澤千登士、齊藤仁志、関戸達哉
（以上 7 名）

■議　事

●説明事項

(1)会社概要
(2)放送番組審議会について
(3)多摩テレビ放送番組基準について
(4)自主制作番組について
(5) TTV-NOW、スクール通信の放送実績について
(平成 23 年 3 月～平成 23 年 7 月放送分)
(6)　主な放送番組審議会意見への対応について
(7)　テレビサービスについて

●審議事項

(1)　コミュニティーチャンネルのビデオ視聴（ダイジェスト版）
TTV-NOW、スクール通信、TAMA 元気印

TAMA のまちネタ、知っ得！行っ得？イベント情報

(2)　ドキュメンタリー「日本一ヘタな歌手（仮称）」（製作映像約 15 分）

●委員の主な意見

・　震災の影響でイベントなどの数が減って大変だと思うが、最近はどうか。

・　忙しいと思うが、撮影や収録をしている様子を覗いてみたい。また、イベントが土日に集中していて大変だと思うが、取材班の編成はどうなっているのか。

・　生中継については、FM 多摩がなくなってしまったので、多摩テレビとして映像も合わせてライブ感が感じられるものがあるのはいいと思う。

・　制作番組のダイジェスト版を見たが、素晴らしい番組だと初めて知った。月刊多摩テレビが送られてくるが、ついつい食卓にはあげずに捨ててしまう。これ（月刊多摩テレビの番組表）が常時、何かの形で近くにあれば多摩テレビを見る人や見る機会も増えると思う。

・　多摩テレビのホームページがリニューアルされ、全体的に淡い色使いで柔らかさが伝わってきて好感が持てる。タイトルも見やすく、ホームページから見る多摩テレビも良いのだが、内容の他に放送した番組などの動画を載せる工夫はできないのか。

・ ＴＡＭＡのまちネタでエコ名人を追いかけていたが、１５分番組で内容が濃いものだった。これは省エネというテーマで番組を作っていると思うが、今後もそのようにテーマを追った番組を作っていくのか。

・　先ほど現場を見てみたいという話があったが、その参考として、パルテノン多摩ではバックステージの見学会を年２回行っていて、これが思った以上に好評だった。日頃行けない場所に行けるという楽しさがあり、ここから親しみを持てると思うので、多摩テレビも定期的にそんなことをやってほしい。

・　多摩テレビは開局２０周年だが、私達が２０周年の時には「写真で見る今と昔」というイベントで、定点写真を使い今と昔を比較した。多摩テレビに昔の映像があるならば、そんな今と比べる映像を作ると面白いと思う。

・　ＴＴＶ－ＮＯＷの冒頭でニュース内容の一覧を出すことは、これから何を放送するか分かるから良い。

・　ドキュメンタリーを見ていて感動するし、ウケがいいのではないか。番組内でうまくＰＲしていってほしい。

・　エコ名人もそうだが、情報のキャッチ力は人員が少ない中、頑張っていると思う。

・　サイエンスチャンネルでは、子どもたちが放射線に関する実験みたいなものを行っていたが、時期が時期だけに良かった。さらに欲を言えば、子育て中の親などは放射線に大変な興味を示していると思うので、専門的で難しいかもしれないが、色々と掘り下げたものが見たい。また、各地域で放射線の測定などをしているが、多摩なら多摩の情報を公開するとか、今、関心を持つ時期だからこそ見たいものではある。

・　日野や八王子の番組を放送しているが、時期を過ぎたものがある。例えば７月１日に開催します。というものを７月の半ばに放送されるので、古いと感じるから、出来るならば変えてほしい。
・　日にちの過ぎた古い情報は出してもいいが、「これは終わっている」という主旨をテロップなどで分かるようにしてほしい。また、それに関連して、耳の不自由な方が分かる様にテロップで表示する取り組みは良い。デジタル化もしたことで、今後は更に取り組みを強化してほしい。
・ これからのテレビは、視聴者参加型の放送が伸びると思う。ラジオ深夜便などは、視聴者から手紙やＦＡＸで意見が届けられる。地域の番組として、地域の方が簡単に触れ合える番組を考えていく必要があるのではないか。
・ 防災無線は、今回の災害時などに必ず必要なものだが、エコーがかかっていたり、車などの雑音で聞き取りづらい。例えば、防災無線が流れた時に１１２チャンネルがパッと切り替わって内容が確認できるように各自治体と連携を取れば、新しいケーブルテレビに期待が持てるのではないか。
・ 放送法とは関係のない事業の範囲だが、各自治体がインターネットで議会中継を流している。議会中継をケーブルテレビで放送できないだろうか。これは各地で検討されていて、実際に放送しているところもあるから、多摩テレビでも検討してほしい。
・ 関心が高いだけに放射能汚染の数値をテレビでも流してもらえないか。放送することによってさらに関心も高まる。地域の数値は普通のテレビでは出ないから、原発が収まるまで多摩テレビには地域の放射線数値を放送してほしい。そうすれば、多摩テレビも盛り上がるのではないか。
・　これだけの放射線を浴びたから、どんな影響が出るとかデータがない。今までは広島（原爆投下）やチェルノブイリ（原子力発電所事故）しかなくて、これらはいっぺんに放射線を浴びた量のデータでしかなくて、今回の福島原発の事故は少しずつ出たものである。原発からどのくらい放射線が漏れているのか計測したデータは出せても、それがどんな影響を及ぼすのかは、これから何十年かしないと分からない。だから、これだけ数値が出て、多いだの少ないだのと発表することには疑問を感じる。
・　多摩川周辺で０．０５を観測したと聞いてもピンとこないが、周りの地域の数値を聞く事で高いのかどうなのかなど知る分には私は良いと思う。
・　データを出すことはいいことだと思う。どこかの国で第三の事故が起きた場合、福島がこうだからと対処できるためにデータを出すことは悪いことではない。
・ ライブ中継の実施とあるが、今年の「多摩センターこどもまつり」と「せいせき花火大会」は出来なかったのか。
・　見たことがないので存じないが、ライブ中継自体は定点カメラで撮っているのか。
・　そのように生中継ができるようなら、金子会長が言っていた双方向の参加型番組はこういった生放送でなら作れるのか。

・　緊急地震速報の単独受信機をすでに販売していると小耳にはさんだ。私は知らなかったので、もっと積極的にＰＲ活動をしてもいいと思う。
・　ＴＴＶ－ＮＯＷでは１週間のニュースをやっているが、同じニュースでも速報性のあるニュースなど、新しいものを取り上げたらどうか。ＮＨＫラジオを聞いていたら、「稲城市坂浜で火災、道路が通行止め」と流れたのだが、このように突発的な大きな事故や災害を伝えられないか。

以上